

新型コロナ感染症に関係した、教室での二つの実験!

どこに出かけても、消毒、消毒。菌と消毒液の関係性を知りたい、そのようなことで、当館では、それらの関係がわずかなりとも理解出来るように二つの実験を計画しました。

当館では、アルコール77度の消毒液と、弱酸性次亜塩素酸炭酸水を噴射した、パンの切れ端と、何も噴射しないパンの切れ端の「青かびの発生」実験をしました。何も吹き付けないパンの切れ端は、青かびが一週間程度で発生しました。



二回目の実験は、当館で利用し始めた次亜塩素酸 pH5.8 微酸性の消毒・殺菌加湿器の有効性の検証です。この装置は、仕様書に99.94%の除菌と記載されています。

この装置の真上、真下、1m、2m、3m、5mの場所に、お供え物のようにミカンをおきます。この実験の中で、微生物の一種である青かびは、どんな順序で生えるのか、生えないのか。

いま世界で起こっていることから学びたい!